

## 夏－6 居酒屋で飲みニケーション

### 1. 活動の目的

- ①飲んだり食べたりしながらのコミュニケーションの場としての、日本の居酒屋文化を知る。
- ②日本人と一緒に居酒屋での飲食を楽しめるよう、注文のし方を知る。

### 2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

☆居酒屋の写真

☆居酒屋のメニュー

### 3. 活動の手順 **留**: 留意点 **参**: 参考 **発**: 発展的活動

#### 活動1

**留** 全体的な留意点・日本の居酒屋＝お酒を飲みながらおしゃべりして、打ち解け、ストレス解消する所。コミュニケーションの場。これを導き出してください。

- 1 「飲みニケーション」は何と何をくっつけた言葉か、学習者に聞く。
- 2 「飲む」＋「コミュニケーション」と書いて示し、「飲みニケーション」の意味を聞いてみる。
- 3 この場合の「飲む」は何を飲むことか聞く。→お酒を飲みながら楽しくおしゃべりして親しくなることを表す言葉であることを知ってもらう。

**発** 学習者の中に日本人の夫を持つ妻がいたら、日本のサラリーマンは飲む機会が多いことや、帰宅が遅いことなど、サラリーマン事情を話題にして話すのも良い。

**参** 日本人がお酒を飲みに行くのはどんな時か。お酒を飲みたい時、プラス、疲れた時。悩みがある時。誰かの悩みを聞く時。

仕事でうまくいった時、いかなかった時。打ち上げや歓送迎会。忘年会、新年会。

帰宅前の切り替え(サラリーマン)。など。

**留** 「あなたはどうかですか。」お酒を飲まない学習者には、お酒なしでも、友達などと食べたり飲んだりするのはどんな時か聞く。

**参** 「居酒屋」というと男性やお酒のイメージを持っていて、積極的に参加しない学習者がいるかもしれないが、その場合は、最近の居酒屋はひとりでも入れるし、女性客も多いこと、お酒が苦手でも楽しめること、最近は「ファミリー居酒屋」なるものもあることなどを説明するとよい。

**参** お酒に求めるものは？ (複数回答) アサヒグループホールディングス 2014年調査

外飲み時に「お酒に求めるもの」は何？

1 人との会話や関係の円滑化 (コミュニケーション)	66.8%
2 気分をリラックスする	35.6%
3 気分の高揚 (気持ちを楽しくする)	33.3%
4 ストレス・緊張の緩和・解消	30.8%
5 食欲を増進する (食事がおいしく食べられる)	23.4%

## 活動2

写真

メニュー

- ・居酒屋の写真を見せて、気がついたことを話してもらったり、学習者から質問してもらったりする。

**留** 写真を見せてボランティアが説明するのではなく、学習者の発話を引き出すための質問などを行うこと。

**参** レストランと居酒屋の違いの例

居酒屋は：

- ・壁にメニューが貼ってある。メニューにはない、有料のお通し(突出し)がある場合が多い。最近ではお通しについて明記したり、お通しを廃止したりしている店もある。

- ・お酒や料理を好きなだけ頼める。追加注文が何回でもできるので、少しずつ注文することができる。相談して決めることが多く、料理を分け合っ(取り皿にとって)食べる。

- ・レストランは食事を楽しむ。居酒屋はお酒やおしゃべりを楽しむ。 など

(居酒屋会話その1)

- ・まずボランティアが店員になって練習する。ボランティアが二人いる場合は、先にモデルを見せてもよい。学習者ができそうなら店員役もさせて二人ペアで練習する。

- ・生3つ=生ビールを3つください。(注文する時の言い方)

**参** 「生3つ」グラスの飲み物は普通1杯2杯と数えるが、注文時は1つ2つと言う。瓶ビールの場合は1本、2本…グラス3つ、などと言って注文する。

**参** 「とりあえず」始めから全部注文しないで、飲み物だけ、または飲み物と料理を少しだけ、先に注文する。後で追加注文をする。

(居酒屋会話その2)

- ・まずテキストの通りに食べたいものや飲みたいもの、食べられないものを伝える練習をする。時間を十分に与え、すらすら言えるようになるまで練習する。

- ・豆腐サラダにします (相談して決める時の言い方)

- ・次に居酒屋のメニューを見ながら実際に注文するつもりで練習をする。最初にメニューを見る時間を取る。この時お酒や料理の情報も適宜与え、学習者が本当に食べたいもの、飲みたいものを選べるようにする。

- ・ボランティアも参加してロールプレイをする。

- ・二つのグループに分かれて、最後に発表するのもよい。

**参** 紙コップなどでグラスの代用をするなど、小道具を用意できれば盛り上がる。

**発** よく話せる学習者の場合は、「これは何と読むんですか。」「冷奴って、何ですか。」「これはどんな料理ですか。」「焼き鳥は、何本ですか。」など、メニューの漢字の読み方を聞いたり、料理の説明を求めたりする課題を与え、会話を発展させる。

**発** 余裕があれば、注文後の乾杯の会話もやってみる。内容や話し方をそれらしく演じて、楽しく会話できるようにボランティアがリードする。

**発** 更に、一緒に居酒屋へ行く計画を立てて実現すると尚良い。

## 活動3

メニュー